

令和2年7月豪雨（7月13～14日）における こいしわらがわ 小石原川ダムの防災操作について

独立行政法人水資源機構が管理する筑後川水系こいしわらがわ小石原川の
小石原川ダム（福岡県朝倉市）の流域では、九州北部付近に
停滞した梅雨前線に伴う豪雨により、7月13日5時から14
日12時までの総雨量が191.5mmとなり、特に14日1時から
2時までの時間雨量は65.5mmを記録しました。

この洪水に対して、試験湛水を実施している小石原川ダム
では防災操作^{*}を実施し、最大流入量毎秒約180立方メー
トルの時に、ほぼ全量の毎秒約179立方メートルをダムに貯
留し、総貯留量は約220万立方メートルとなりました。

この防災操作により、小石原川ダムの下流約22kmにある
さかえだばし
栄田橋水位観測所では、ダムが無かった場合に比べて、河川
水位を約0.88m低減できたと推定されます。

※「防災操作」とは、大雨の際にダムに流れ込む水の一部を一時的にダムにため込むことで、
ダムから下流に流す水の量を減らし、下流の川の水位を低減させるダム操作です。

今回の発表は速報値であり、数値等は今後の調査により変わることがあります。



令和2年7月17日

みづしげんきこう
独立行政法人水資源機構 筑後川局

配布先	
国土交通省九州記者会	九州建設専門記者クラブ
久留米市政記者クラブ	佐賀県政記者クラブ
西日本新聞朝倉支局	読売新聞筑紫支局
毎日新聞福岡南支局	朝日新聞太宰府支局

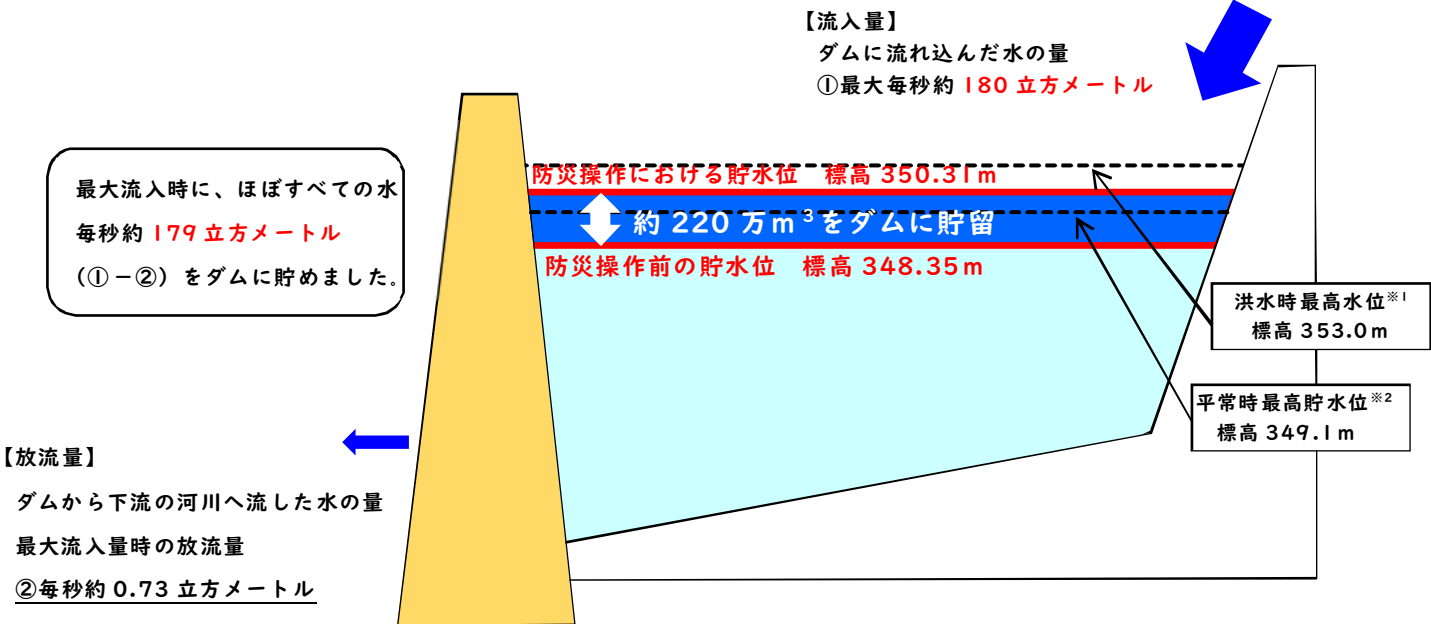
問い合わせ先			
独立行政法人水資源機構	筑後川局	総務課長	中山
		企画調整課長	前田
住所	：福岡県久留米市東町42-21		
電話	：0942-34-7001		

小石原川ダム位置図

福岡県朝倉市江川 地先
 ※筑後川中流部（河口から約 40km 地点）に流入する小石原川の約 25 km 地点



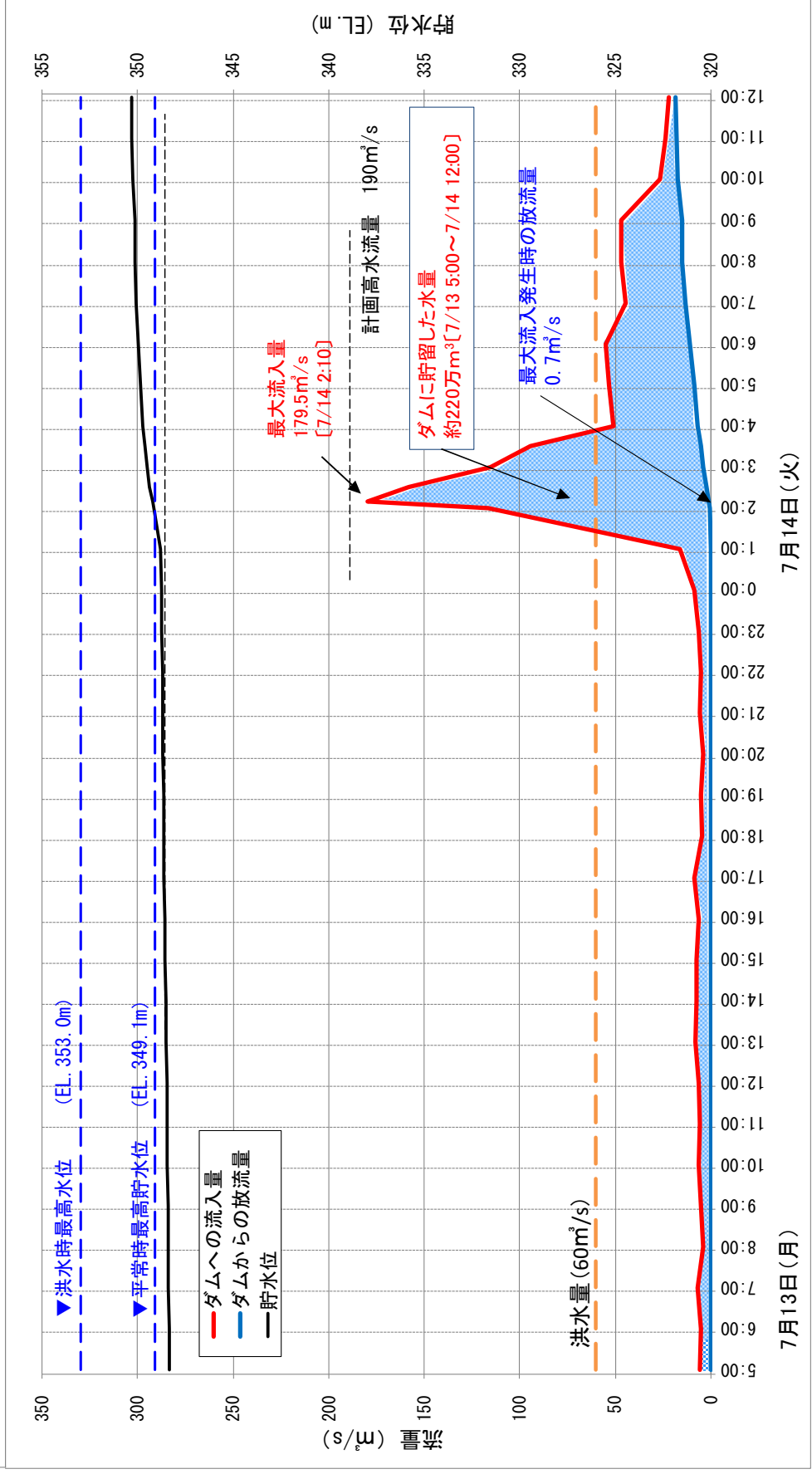
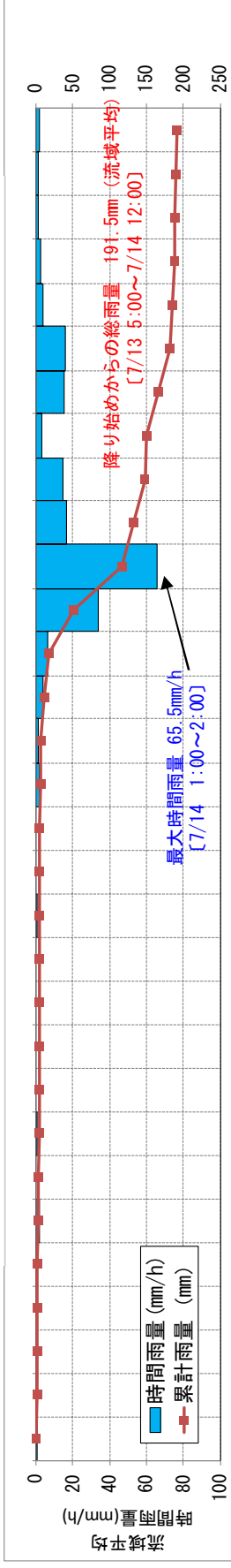
小石原川ダムの洪水時防災操作



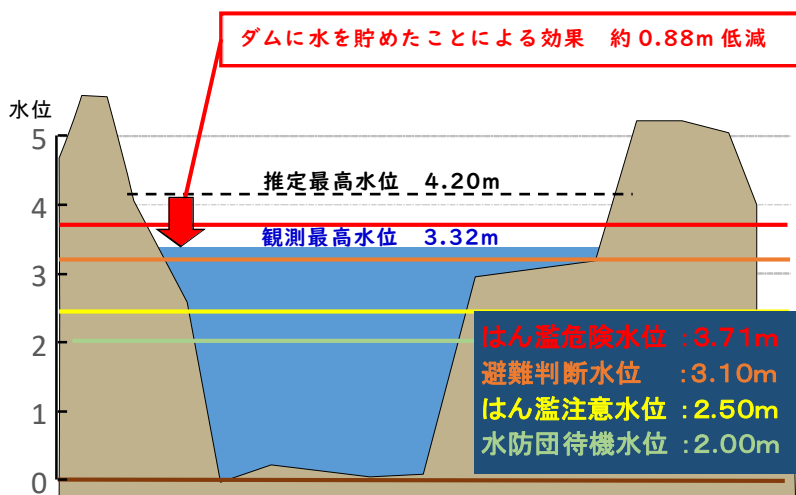
※1 洪水時最高水位：洪水時にダムによって一時的に貯留することとした流水の最高水位
 ※2 平常時最高貯水位：平常時にダムによって貯留することとした流水の最高水位

※今回の発表は速報値であり、今後の調査により数値等が変わることがあります。

小石原川ダム防災操作図（令和2年7月13～14日）



ダム下流河川の水位低減効果



栄田橋水位観測所における、ダムに流れ込む水を貯めて川の水を減らしたことによる効果

①ダムがなかった場合

推定最高水位 4.20m

※現時点で得られているデータ等を用いて、推定最高水位を算出していることから、今後修正となることがあります。

②ダムに流れ込む水を貯めたことによる河川水位

観測最高水位 3.32m

ダムに水を貯めたことによる効果 (①-②)
栄田橋河川水位観測所付近の河川水位を
約 0.88m 低減させています。

※この数値は速報値です。

